

1頁	日立一高創立90周年を迎えて
2・3頁	平成29年度の活躍
4頁	日立一高活動状況
5頁	平成30年大学入試結果
6～8頁	同窓会支部だより
9頁	同窓生の活躍/会計報告
10～11頁	部活動OB会活動報告
12・13頁	役員・同窓会一覧
14頁	白聖会 会則
15頁	ホームカミングデー
16頁	購読協賛金/今後の活動予定



【発行】日立一高同窓会白聖会
 【編集】井上 清
 【事務局】
 〒317-0063 日立市若葉町3-15-1
 日立第一高校内
 TEL：0294-22-6488
 HP：http://hitachi-hakua.jp/

茨城県立日立第一高等学校・附属中学校
祝 創立90周年記念式典



日立一高創立90周年を迎えて

平成29年10月28日（土）、日立一高創立90周年記念事業が行われました。式典では、脳科学者・茂木健一郎先生による講演、在校生によるスピーチ等がありました。
 また、式典後、平成29年度の同窓会白聖会総会・懇親会が約100名の出席で開催されました。終了後はホテル天地閣において、創立90周年祝賀会 兼 懇親会・祝う会・励ます会を開催いたしました。会員が相互に親睦を深める時間となりました。

日立一高同窓会白聖会 会長
井上 清

日立第一高等学校 校長
村田 一弘

創立90周年記念式典実行委員長
海野 透



皆様方におかれましては
爽やかな日々をお過ごし
のことと存じます。平素は
同窓会活動にご尽力頂き、
誠に有難うございます。去
る平成29年10月28日の同
窓会総会におきまして、同
窓会会長を仰せつかりま
した第16回卒の井上清です。

昨年で創立90年となり、同窓生は32,000名を超え、県内外を問わず、各方面で活躍しています。同窓会の活動目的は会員相互の親睦と母校の発展を図ること、つまり同窓会の会員同士が交わってより良い人生を生きること、そして、より良い人生を生きながら母校を応援することです。

県内でも有数の歴史と伝統の日立第一高校を卒業し、改めて「伝統は我々が築く」の気概をもち、その歴史に1ページを刻んだ自覚をもって、母校の更なる発展のため、そして未来輝く後輩たちのために、おしめない支援と協力を続けていきたいと思っております。

最後になりますが、同窓会の活動は母校に対する最大の応援活動です。皆様方に更なるご支援とご協力をお願い申し上げ、重ねて母校の発展と、会員各位のご健勝ご多幸をお祈り申し上げご挨拶とさせていただきます。



昨年は、日立一高の創立90周年にあたり、同窓会の皆様から多大な援助をいただき、盛大に記念式典を行うことができました。ありがとうございました。

現在、生徒・職員合わせて約1,000名が在籍しておりますが、当日は、OBや保護者の方も多く出席していただき、約1,500名が式典に参加していただきました。脳科学者の茂木健一郎先生の講演も好評で、生徒にも良い刺激を与えられたのではないかと思います。

また、記念事業として平成29年度と30年度に、アメリカ西海岸の研究機関に生徒を20名ずつ派遣していただくことになりましたが、平成29年度の派遣生徒が、先輩方の前で、成果を報告することができました。皆様のご支援に心から感謝いたします。

さて、平成30年3月の卒業生には、附属中学校の1期生もあり、日立一高は新しい時代に突入しました。現役生の活躍は、2～5頁に記載しておりますので、ぜひご覧ください。

平成29年度、日立一高は非常に充実した1年を送ることができました。入学志願者も増え、非常に活気があります。一方で、県北地区の児童・生徒の数が猛烈な勢いで減少していること、学校の施設の老朽化やICT化への対応の遅れなど、100周年に向けて課題も山積しております。同窓会の皆様方には、今後ともご支援いただきますようお願いいたします。



昨年10月28日、創立90周年記念式典と記念講演会が関係者多数出席のもと盛会裡に開催されました。県内有数の名門校として、大きな節目を迎えることが出来

ました。私は、当日会場に着くなり生徒達のキラキラ輝く瞳を見た瞬間、緊張感がグッとこみ上げると共に改めて日立一高の誇り、名門の歴史の重さを感じた次第です。約1年間にわたって式典や事業の準備に携わって来られた実行委員、関係者の方々に心から感謝申し上げます。苦勞のお陰で90周年の節目をやり遂げることが出来ました。

脳科学者の茂木健一郎先生の講演も良かったですね。自分で限界の壁を作らずに目標を掲げて、勇気を持って「無茶振りをしてみよう」と訴えられました。3人がそれぞれにステージに上がり、課題に挑戦しましたね。生徒達も自身に繋がったことでしょうか。生徒達の成長に期待したいです。

さて、日立一高は、次の大きな節目の創立100周年に向かってスタートを切りました。世界は速いスピードで進化を続けております。グローバル化、AI化は益々進むでしょう。在校生には世界に向けて夢・勇気・実行力を持ってチャレンジして欲しいですね。同窓会はそのな在校生を精一杯支援して参ります。



平成29年度 現役生の活躍

イギリス海外研修に参加して

1年1組 山下 瑠里子

私達イギリス研修第15期派遣生16名は10月9日から12日間、イギリス海外研修に参加してきました。この研修の最大の目的は、模擬国連に参加することです。私達は日本チームとして、模擬国連で決議案の審議等をする班、現地で発行される新聞作成をする班の2つに分かれて参加しました。今回、日本チームが提案した4つの議案のうち、2つが最終総会に提出されそのうち1つが可決されるという大変名誉な結果を残すことができました。研修生全員が自分の役割を全力で果たし積極的に活動できたのだと思います。また、ロンドン市内研修やウィンザー城の訪問など、観光面も充実していました。バッキンガム宮殿では運良く衛兵交代を見学することもでき、日本と違った雰囲気にも圧倒されました。この他にも学校生活とは違った貴重な体験ができ参加して本当に良かったと思います。最後に、引率して下さった萩沼先生、加藤先生、応援してくれた方々、家族に深く感謝いたします。

第15回 イギリス海外研修報告

平成29年度引率教員 萩沼 普美子

英国海外派遣研修の主目的は、模擬国連への参加です。

これは、日本代表として世界の諸問題への解決策を提案し、他国の代表と討議するというものです。

英語で全てをこなすという点で、高校1・2年生にとってはかなりハードルが高い挑戦ですが、今回の第15回派遣生は大健闘をいたしました。

メンバーが作成した決議案の一つは、委員会のみならず総会でも可決されました。

生徒達の英語力はまだまだですが、彼らのコミュニケーションを取ろうという前向きな姿勢は立派なものです。様々な国の人達と豊富なテーマで話ができる喜びを感じ取ってくれたことでしょう。

アメリカサイエンスセミナー

2年B組 坂本 未来

アメリカサイエンスセミナーとは、サイエンス科の生徒が参加できる「国際社旗で活躍できる人材の育成」を目的とした研修である。

研修期間中、私達はカリフォルニア大学パークレー校に行き、本校の卒業生である茅根さんからアメリカの大学についての話を聞いた。また、研究室の見学も行った。茅根さんによると、アメリカの大学の研究費は個人の寄付によるものが多いという。もちろん、大学からも研究費は与えられている。一方、日本の大学は、ほとんど大学から与えられる研究費のみでしか研究を行っていくしかない。そのため、大学によっては自分のやりたい研究を思うままにできない、ということが多くある。研究費の不足というのは深刻な問題である。その点については、アメリカの大学は日本の大学に比べて、自分のやりたい研究を思う存分できる、という利点がある。

私は今まで、日本の大学にしか目を向けてこなかった。今回この研修を通して大学の進学先の候補として海外に目を向けてみるのもいいと思った。

自分の世界観を広げるきっかけとなる研修であった。

演劇部

「白紙提出」を上演してきました

3年2組 大森 明龍

私たちが出演する「第41回全国高等学校総合文化祭みやぎ総文2017演劇部門」は8月1日から3日にかけて開催。その2日前のリハーサルから現地入りしました。到着してすぐトラックから舞台装置を荷下ろしし、午後から80分の舞台リハーサル。

翌日は生徒交流会。午前中は旅館の広間で稽古、午後から移動して交流会の出し物「Hi-tachi Dance」の練習をしました。出場校同士の緊張感や空気を味わいつつ、他校にひけをとらないパフォーマンスができたように思います。

そして3日目、大会初日、本番。会館に着いたらすぐに準備運動です。裏でトラブルもあり、5分押しで始まった舞台でしたが、劇そのものはうまくいったようです。旅館に戻り反省会。三本締めをしました。

4日目、学校で水泳部の方々に協力していただいて装置の荷下ろしをしている頃、私達は他校の全国大会レベルの舞台を目にしていました。

そして大会最終日、午後は審査員の先生方による講習会と講評。緊張しながら耳を傾けました。そして結果発表。最優秀賞はとれなかったものの13校のうち3校に与えられる優秀賞をとることができて、胸をなでおろしました。仙台最終日は国立劇場公園についてのミーティングを行った後、お世話になった岩松旅館に別れを告げました。お昼は宮城県名物牛タンに舌鼓を打ち、東北新幹線やまびこは仙台駅を離れ、我々の6日間にわたる仙台の旅は幕を閉じました。

物理部

宮城で感じたこと

3年A組 澤原 嵩大

Q「宮城といえば？」
やはり、「牛タン」、「萩の月」、「伊達政宗」と答える人が多いと思います。（「東北大学」という人もいます。）

私もはじめそう思っていました。しかし、実際に行ってみると、それに「大震災」が加わりました。

実際に宮城に行って実感したことは大震災の復興はまだ終わっていないということです。私達は石巻に宿泊しました。石巻は震災当時にも耳にしていたのですが、実際に足を運んだのは初めてでした。宿に向かう道中、震災の跡が多くありました。閉校した小学校、線路の跡、プラットフォームのみ残した元駅舎。どれも言葉で聞くより心に残りました。それと同時に、新築された駅を見て、復興も進んでいるとも感じました。

震災から6年半が経ちました。茨城県では復興もほぼおわり、大震災が起こったことを忘れてしまいがちですが東北ではそんなことはありません。現地の人は、道を通る度、震災のことを思い出してしまうのではないかと思います。受験勉強では知れないことを学ぶことが出来ました。

あ、そういえば、本来ここには研究発表について書くべきでしたね。私達物理部は「ガウス加速器の放出速度の決定とエネルギー収支について」の研究発表をしましたが、残念ながら賞を逃してしまいました。受験勉強の時間を削って準備・練習しただけに悔しい気持ちも大きいです。個人的にはクイズ大会で賞状をもらったのがせめてもの救いでした。

放送委員会

総文祭に参加して

2年4組 寺山 沙慧羅

私達放送委員会は、8月3・4日に全国総文祭の放送部門のビデオメッセージ部門に「SEE OFF KOSHIEEN」という作品で出場しました。

この作品は、現在高校野球応援歌として使われている「SEE OFF」という曲を最初に取り入れた、本校の卒業生である水野舞さんの想いと、本校発祥であるということ、多くの人に知って欲しくて作りました。

また、他校の作品を見て、テーマである「郷土の話題」を知ることができて、楽しかったです。

私達の作品はEブロックで1位を受賞することができました。今回、この作品を作るにあたり、多くの方にご協力いただきました。ありがとうございました。

卓球部

全国選抜大会に出場して

2年1組 豊田 奈津美

私は、3月23日から福井県で行われた全国選抜卓球大会の女子シングルスに出場しました。私は中学生の時に卓球をはじめ、中学生の時から全国大会出場を目標にし練習に取り組んできました。なので今回、この大会に出場できたことと決まった時は本当に嬉しかったですし、それと同時に、今までお世話になった方々への感謝の気持ちでいっぱいでした。

私は今まで強い選手と何度か試合をしてきましたが、全国選抜に出場していた選手はみな、私が経験してきた強い選手とは全く違いました。会場は多くの人で溢れ、また試合中は熱気で溢れていました。私はその雰囲気を初めて体感しました。その時に少し緊張し、改めてこの会で試合ができる喜びを感じました。

試合の結果としてはあまり良いものになりませんでした。その時に一番感じたのは罪悪感です。たくさんの方々に応援していただき、チームメイトにも練習に付き合ってもらい、先生にもいくつもの苦勞をかけたと思います。しかし結果を残せなかったという事実をものすごく感じました。それが、大きな舞台で戦い、試合に勝つということなんだと学びました。これは私の人生の中で大変貴重な経験になりました。これから生きていく社会の中でこの経験を忘れず活かしていきたいです。



イギリス海外研修 (1・2年生有志)

アメリカサイエンスセミナー (サイエンス科)



演劇部 集合写真



放送委員会

平成30年度 定期異動

(教諭関係。中学は除く)

種別	職名	氏名	科目	転出先
退職	教諭	渡邊 宏	国語	太田一高 (再任用)
転出	教諭	鈴木 純子	英語	那珂高校
転出	教諭	鈴木 奈身	保体	那珂湊高校
転出	教諭	関山 大志	理科	太田一高
転出	教諭	野内 哲也	理科	友部高校

日立一高活動状況

平成29年度 3月までの全校表彰およびそれに準ずる成績は以下の通りです。表彰対象は県外レベル出場、県内入賞が目安です。

文化 部

演劇部

茨城県高等学校演劇連盟第6回新人大会
ベストプレイ賞(団体) 最優秀俳優賞(個人)
茨城県高等学校総合文化祭高等学校演劇祭
優秀賞
第41回全国高等学校総合文化祭(みやぎ総文2017)
文化庁長官賞
東京帝国劇場公演
第53回関東高等学校演劇研究大会(甲府会場)
優良賞 創作脚本賞

放送委員会

第41回全国高等学校総合文化祭(みやぎ総文2017)
優秀賞

写真部

茨城県高等学校総合文化祭美術展覧会 出品

書道部

茨城県高等学校総合文化祭美術展覧会 出品

英語部

第65回茨城キリスト教学園英語コンテスト
プレゼンテーションの部 第1位 第3位

地学部

茨城県高等学校文化連盟自然科学部主催研究発表会
ポスター(パネル)部門 最優秀賞
研究発表地学部部門最優秀賞
千葉大学主催第11回高校生理科研究発表会
千葉市教育長賞
第42回全国高等学校総合文化祭(2018信州大会) 出場予定

化学部

第6回茨城県高校生科学研究発表会
優秀ポスター賞

数学部

第6回茨城県高校生科学研究発表会
最優秀ポスター賞 審査員奨励賞

物理部

第41回全国高等学校総合文化祭(みやぎ総文2017) 出場

部活動以外の活動で顕著な成績を収めた者

国語

茨城県読書感想文コンクール 茨城県議会議長賞

標語

「いばらき教育の日」推進協議会主催標語募集
茨城県知事賞
高等学校交通安全対策事業交通安全標語コンクール
最優秀賞 優秀賞

SSH

SSH科学成果発表会 優秀賞(2組)「生物分野」「物理分野」

平成30年 大学入試結果

現役合格者数

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
国公立大合格者数	125	166	99	97	127	134
私立大合格者数	425	464	290	287	315	252
卒業生数	318	317	239	239	239	238

東大、京大 各1名 筑波大(医学群) 2名 現役合格

日立一高附属中をつくる時、「超難関大学や、医学部を目指せるような中高一貫校にしよう」ということでした。その1期生が今年受験をし、結果が出ました。
東京大理1が1名、京大工学部1名、東京工業大7類1名、北海道大学2名、東北大4名、筑波大は医学群2名を含め15名、お茶の水女子大2名、大阪大1名など、国公立134名。
238名の卒業生ですから、56.3%の合格率。
私立大学も、早慶をはじめ「MARCH」クラスの大学に合格。
質・量ともに実績が出たといえるのではないのでしょうか。

国立大学

※平成30年3月30日現在。()は過年度生合格者内数。

大学名	学部	学科	合格者	小計
北海道大	理	化学	1	3(1)
	工	情報社会	1	
	総合理系		1(1)	
弘前大	理工	物質創成化	1	1
	経済		1	
東北大	理	地球科学系	1	4
	工	電機情報物理	1	
	工	機械知能・航	1	
宮城教育大	教育	特別/発達障	2	3
		初等/情報も	1	
秋田大	理工	教育/数理科	1(1)	2(1)
	理工	シス/土木環	1	
山形大	地域教育	地域/児童教	1	2
	理	理	1	
福島大	人文社会	行政政策学類	2	5
		経済経営学類	2	
	理工	共生システム	1	
茨城大	人文社会	現代社会	2	36(3)
		法律経済	2	
		人間文化	3	
	教育	学校/国語	3	
		学校/社会	1	
		学校/数学	1	
		学校/美術	1	
		学校/技術	2	
	理	学校/家庭	2(1)	
		学校/教育実	2	
		理/学際理学	2	
	工	理/数学・情	2	
		理/除数学情	1	
理/化学		1		
農	情報工	2		
	電気電子シス	4(1)		
筑波大	人文文化	人文学類	2(1)	17(2)
		日文学類	1(1)	
	社会国際	国際総合学類	1	
		障害科学類	1	
	理工	工学システム	1	
		社会工学類	2	
	生命環境	応用理工学類	1	
		生物学類	1	
	医	医学類	2	
		看護学類	1	
体育	医療科学類	1		
	芸術	2		
宇都宮大	工	情報工	1	2
		電気電子工	1	
埼玉大	教育	学校/小学文	2	6
		学校/小学音	1	
	教養	教養	1	
		経済	1	
経済	現代シス	1	3	
	工	機械工学・シ		1

※ 現役生：推薦・AO試験22名/前期日程72名
中期日程8名/後期日程32名 計134名

私立大学

大学名	学部	学科	合格者	小計
千葉大	法政経	法政経	1	9
	教育	小学校	1	
	国際教養	国際教養	3	
	工	総合/医工学	1	
	工	総合/情報工	1	
お茶の水女子大	文教育	言語文化	2	2
	理科一類		1	1
東京学芸大	教育	文教育	1	4(1)
	教育	教育/情報教	1	
東京芸大	音楽	音楽環境創造	1	1
	音楽	音楽環境創造	1	
東京工業大	第7類		1	2(1)
	都市科学	都市社会共生	1	
新潟大	工	協創経営プロ	1	2
	医	検査技術科学	1	
富山大	薬	創薬科学	1(1)	1(1)
		物質化	1	
信州大	工	電子情報シス	1	3
		水環境・土木	1	
静岡大	工	機械工	1	1
	工	地球工	1	
京都大	外国語	中国/中国語	1	1
	外国語	中国/中国語	1	
大阪大	外国語	中国/中国語	1	1
	外国語	中国/中国語	1	
奈良女子大	国際地域	国際地域創造	1	1(1)
	国際地域	国際地域創造	1	
和歌山大	経済	経営国数	1	1
	経済	経営国数	1	
岡山県立大	経済	経営国数	1	1
	経済	経営国数	1	
琉球大	国際地域	国際地域創造	1	1(1)
	国際地域	国際地域創造	1	
青森公立大	経営経済	経営国数	1(1)	1(1)
	経営経済	経営国数	1(1)	
岩手県立大	看護		1	1
	看護		1	
秋田県立大	システム	情報工	1	2
	システム	知能メカトロ	1	
県立米沢栄養大	健康栄養	健康栄養	1	1
	健康栄養	健康栄養	1	
茨城県立医療大	保健医療	理学療法	1	4
	保健医療	放射線技術	1	
前橋工科大	工	システム生体	1	1
	工	システム生体	1	
高崎経済大	経済		2	3
	地域政策		1	
埼玉県立大	保健医療	社会/福祉	1	1
	保健医療	社会/福祉	1	
首都大東京	理	物理	1	4(2)
	システム	機械シス工	1	
神奈川保福大	保健福祉	福祉	1	1
	保健福祉	福祉	1	
横浜国立大	国際総合	国際/都市学	1	4(1)
	国際総合	国際/経営科	3(1)	
長岡造形大	造形	視覚デザイン	1	1
	造形	視覚デザイン	1	
都留文科大学	文	国文	1	3
	教養	学校教育	2	
富山県立大	工	知能ロボット	1	1
	工	知能ロボット	1	
長野大	企業情報	企業情報	2	2
	企業情報	企業情報	2	
大阪府立大	現代シス	マネジメント	1	3
	工学域	機械系学類	2	

合計 148 (14)

合計 317 (65)

本校は「文武両道」を目標としています。つまり学業と、部活動の両立です。学業は、進路先を見ていただくと分かるように、まずまずの成果をあげています。では部活動はどうかというと、部活動も負けてはいません。

運動部関係では、関東大会に、陸上部(女子砲丸投)、女子卓球部(学校対抗、ダブルス)が、卓球部女子個人で出場しました。また、野球部は秋の関東大会の県予選でベスト4に入り「21世紀枠」に県で推薦をもらいました。

一方文化部では、演劇部が「文化部の甲子園」といわれる高校総合文化祭(みやぎ総文2017)で「優秀賞」および「文化庁長官賞」を受賞。東京帝国劇場での上演という快挙を成し遂げました。演劇部は、その後の関東大会(甲府会場)にも出場しています。また同じ総文祭で放送委員会が「優秀賞」を受賞、物理部も作品を発表しています。

おもな部の活躍は以下の通りです。

運動 部

水泳部

県民総体兼国民体育大会茨城県大会
女子200M個人メドレー第8位
女子400M個人メドレー第7位

野球部

秋季関東大会県大会ベスト4
「21世紀枠」推薦



卓球部

関東高等学校卓球選手権選抜大会出場
関東高等学校卓球大会茨城県予選会
第45回全国高等学校選抜卓球大会出場
卓球女子学校対抗第3位 女子ダブルス第3位
茨城県高等学校総合体育大会兼全国高校総体茨城県大会
卓球女子学校対抗第3位 女子ダブルス第5位

陸上部

第21回関東高等学校選抜新人陸上競技大会出場 砲丸投
茨城県高等学校陸上競技新人大会
男子1500M第8位 男子3000M障害第8位
男子走高跳第6位 男子8種競技第3位
女子走高跳第6位 女子砲丸投第6位 女子円盤投第6位
茨城県高等学校新人駅伝競走大会 駅伝女子の部第7位

弓道部

関東高等学校弓道大会茨城県予選会
弓道個人女子第3位
茨城県高等学校総合体育大会兼全国弓道大会茨城県予選会
弓道個人女子第4位

ソフトテニス部

茨城県高校総合体育大会兼
全国ソフトテニス選手権大会茨城県大会 女子団体第5位

スキー(個人)

茨城県高校総合体育大会スキー競技会兼
全国高校スキー大会兼関東高校スキー大会茨城県大会
回転、大回転 第2位
第53回関東高校スキー大会出場 回転、大回転
第67回全国高校スキー大会出場 回転、大回転
第73回国民体育大会スキー競技会出場

同窓会支部だより

支部だよりは、職域・地域・女性会支部の動向を会員のみなさまにお知らせしているコーナーです。職場やお住まいの近くの支部の活動にぜひご参加ください。各支部の連絡先は13ページに記載してあります。

みなさまの同窓会開催をサポートします

同学年での同窓会や、職域の卒業生の会など、日立一高同窓生が集う会の開催に向けて、白聖会事務局がサポートをいたします。開催をご検討されている方は、お気軽にご連絡ください。お待ちしております。

サポート内容

- ・同窓会開催会場予約
- ・会報に開催案内を掲載
- ・返信ハガキを会報に同封
- ・同窓会出欠取りまとめ
- ・同窓会資料等の準備(経費は実費)

東京支部

幹事長 幸田 則夫 (昭和44年卒)

東京同窓会の総会・懇親会は、例年7月の第1土曜日に開催していますが、今年は会場側の都合により1週間ほど前倒して開催することが決まっております。以下は昨年時間帯ですが、大きく変更になることはない予定です。

【日時】平成30年6月30日(土)
12:50~17:00 受付開始12:20

【場所】大手町「サンケイプラザ」3F

【会費】男性10,000円 女性8,000円
30歳以下 5,000円
家族参加費 3,000円

【出欠】後日お出しする開催のご案内の返信ハガキをお願いします。

なお、ご案内が届いてない方は出席のご連絡を直接幹事宛てに頂いてもかまいません。ちなみに私の携帯番号は、(090-7269-2301)です。

詳細については、第1回の「役員・幹事会」を3月23日(金)に開催し、それ以降、順次内容を確認決定の予定です。

今年の総会・懇親会も I.総会の部 II.講演の部 III.懇親の部の構成で開催予定で、懇親の部の途中から学年別テーブルから出身中学校テーブルに編成する予定ですので、中学時代の懐かしい話で盛り上がりも戴けると思っています。

また、いつも最後に大盛り上がりする、大好評の“大抽選会”も顕在です。当たる商品もお楽しみです。どうぞよろしくお願いたします。

国分支部

支部長 芝田 崇徳 (昭和59年卒)

2017年度の白亜会総会を12月1日~2日、北茨城市五浦観光ホテルにおいて現役の白亜会から9名とOBの軒昂会から4名の参加で開催した。今年度は現役の白亜会会員から60歳到達者が居なかったため卒業式は執り行わず、幹事一任で参加できるような総会を開催しようと計画した次第である。

総会では各人の近況や先輩諸氏から日立一高に纏わる逸話、武勇伝などを載しながら旧交を温めたほか、五浦観光ホテル社長の村田先輩(昭和54年卒)のご挨拶や取り計らいを頂戴するなど、最後は全員で肩を組んでの校歌斉唱で盛大に締めくくることが出来た。



またOBの軒昂会は昨年11月までに毎年2回、通算33回の定期開催を数え、昨年7月には「軒昂会の歩み」と題し、第1回(平成13年7月)から第31回(平成28年10月)までの軒昂会の活動、会員一人ひとりの近況や思い出の数々を纏めた記念誌を発行するに至った。これもひとえに磯野先輩、平野先輩をはじめ先輩諸氏のたゆまぬ努力の賜物であり、さすが軒昂会である。いつまでもお元気で、いつまでも頼もしい先輩方であり続けて欲しいと思う。

県央支部

支部長 川崎 和典 (昭和41年卒)

- 【I 県央支部】
1. 相撲5月場所観戦
平成29年5月15日2ヶ目に横綱稀勢の里の勝利を見届け良い思い出になりました。
 2. 平成29年度県央支部総会
平成29年11月18日にテラスザガーデン水戸にて、ジャズボカールを楽しみながら親睦を図り有意義な時間を過ごしました。



- 【II 県央支部水戸地区】
- 水戸地区は現状県央支部の活動に合わせて実施しています。継続して同窓会活動に賛同して頂ける方を募っています。連絡先は、森嶋 宏 地区長(240-0017) 三代 弘美 幹事長(247-1398)に電話を御願いたします。

- 【III 県央支部東海地区】
1. ゴルフ年2回、日帰り温泉年2回
ゴルフを4月20日、9月26日。日帰り温泉を5月24日、9月7日に実施し入浴、カラオケ、歓談で身も心もリフレッシュし親睦を深めています。
 2. 平成29年度(第4回)東海地区総会
平成29年10月29日に、JA東海会館で実施し、立木竜一歌謡ショー、カラオケ、歓談で親睦、交流が楽しく出来ました。



豊浦・日高支部

支部長 森嶋 鎮一郎 (昭和38年卒)

当支部の平成29年度総会は、9月7日(木)に会員30名出席のもと、いつもの日高クラブで行われました。来賓の椎名敦史本部副会長から、母校創立90周年記念事業の概要、「白聖」の冊子から新聞への変更、演劇部や放送部などの躍進・快挙についての報告がありました。議事は、議案すべてが全会一致で可決承認されました。懇親会では、恒例の近況報告、情報交換等で盛り上がり、最後に全員で校歌を斉唱し、和やかなうちに閉会となりました。当支部は、近年、高齢会員の退会や欠席が見られる反面、若い新入会員の参加もあり、出席者数はわずかながら増えています。今後も、少しずつ会員を増やしながら母校の飛躍・発展に寄与するべく会員相互の交流をはかりつつ、100周年に向けて支援の輪を広げていきたいと思っております。

高萩支部

支部長 沼野 新弥 (昭和40年卒)

平成29年4月23日、日立一高高萩支部総会を国民宿舎「鶴の岬」にて、副会長の宇佐美泰男様のご出席を頂き、35名参加のもと開催しました。事業として毎年行われていた高萩支部ゴルフコンペは豪雨のため中止となり、東北3支部(高萩、磯原、常北)親善ゴルフコンペは、平成28年9月25日に参加者39名(高萩支部8名)のもと、茨城パシフィックカントリークラブにて開催されました。総会ご来賓として、石川衆議院議員のご出席を頂き和やかな懇親会が開かれました。当支部総会の楽しみの一つに、開催前に「鶴の岬」が誇るオーシャンビューの展望風呂でのんびりと寛ぐことが出来る事があります。それを楽しみにしている会員がいることは、大変嬉しく次回はより多くの参加を期待しております。



常北支部

支部長 中根 教文 (昭和29年卒)

日立一高同窓会 常北支部の平成29年度総会は、昨年7月23日(日)本支部会員が社長を務める五浦観光ホテル別館大観荘に於いて、24人の出席をいただき、開催しました。

議事について、平成28年度の事業報告並びに収支決算と平成29年度事業計画については、近隣支部との大15回親善ゴルフコンペ等を含めて、いずれも全会一致可決で承認されました。総会の終了後は、引き続き同会場において、磯原支部と合同の懇親会が開催されました。



ご来賓の同窓会本部副会長である宇佐美泰男様からは、これまでの同窓会会報白聖の冊子2500部から折込みに変えて、2万部を増刷し、全員へ送付することにも、海外研修支援等同窓会目的達成のため購読協賛金の納入を期待しましたが、増刷経費にも満たない結果であり、さらなるご支援をお願いしたい旨の要請がありました。また、生徒の目標になりサポートの講演のできる卒業生を募集しているの、希望者は同窓会事務局に登録させて頂きたいと要請がありました。

その後は、ご歓談いただきながら和気あいあいの中で、親交を深め盛会のうちに閉会しました。

親善ゴルフコンペは、9月24日(日)常北支部、磯原支部と高萩支部で70人を超える参加者により開催されました。団体戦の本支部成績は、振るいませんでしたが、さらに地域間交流を図りながら輪を広げて参りたいと存じます。

最後になりましたが、母校のますますのご発展と同窓生各位のご健勝を心からご祈念申し上げます。

磯原支部

支部長 大森 廣幸 (昭和41年卒)

磯原支部は、平成29年7月23日に五浦観光ホテル別館大観荘で、定例の支部総会を開催し、前年度の事業報告・決算と新年度の事業計画等を承認決定されました。その後、概ね50名の会員が出席して、恒例となった常北支部との合同懇親会を開催しました。日々の楽しみ方や健康維持の話に盛り上がり、日常生活の一端が垣間見られ有意義な一時を過ごすことができた来年の再会を約束して散会しました。

また、9月24日には、高萩支部・常北支部を含めた第16回親善ゴルフコンペに40数名が集いました。天候にも恵まれ普段の実力を遺憾なく発揮され会員相互の親交を深めることが出来ました。これからの支部の活動に対する影響が懸念されますのは、会員の減少と高齢化の問題であり、新会員の確保は最重要課題です。その為、各支部との情報交換を図りながら、支部の発展と活性化に努めて参ります。

日立市役所支部

支部長 岡部 和彦 (昭和51年卒)

日立市役所支部は平成30年1月1日現在、333人の会員がいます。支部の活動は、退職者送別会と新会員歓迎会を兼ねて総会を開催しており、平成29年度は会員約90人が参加しました。総会の内容は、冒頭の支部長あいさつ後、小川春樹日立市長、椎名敦史同窓会常務理事、村田一弘日立一高校長先生から御祝辞をいただきました。その後、歓談を交えた後、退職者のスピーチと記念品・花束の贈呈、新会員による自己紹介スピーチと進行し、最後は「校歌斉唱」と「三本締め」で締めくくりました。今後も、支部会員一丸となり、同窓会の活性化を通じた母校への支援、そして市政発展に努めてまいります。



同窓会支部だより

支部だよりは、職域・地域・女性会支部の動向を会員のみなさまにお知らせしているコーナーです。職場やお住まいの近くの支部の活動にぜひご参加ください。各支部の連絡先は13ページに記載してあります。

同窓生の活躍

女性会支部

女性会 会長 野口 不二子 (昭和37年卒)

創立90周年おめでとうございます。本校は昭和2年(1927)に開校され、太平洋戦争・戦災・復興と、思えば混乱と苦難の連続の歴史の上にあった。初代校長加藤吉士氏の教えは「本人の自覚と努力なくしては、良い設備も教授も効果をなし得ない」と名言を残している。その言葉は今でもなお脈々と校訓に反映されており、人生の道標になったのであろうと想う。私たちは日立一高で学び、まぶしく輝いた青春の時を過ごした。校訓の中にある誠実勤勉、自治独立につとめよ。和衷共せよ(お互いに和をもって協力しあって世のため人のため生きて行くこと)。特にこの校訓はこれからも人生そのものの根源になって息づいていくことだろう。

100周年に向けて在校生一同、夢と希望と勇気をもって、例え失敗し困難な航海であっても、それが未来の大きな糧に繋がっていくのだと前進して参りました。

日立支部

支部長 椎名 敦史 (昭和48年卒)

日立支部は、昨年開催の白聖祭において、実施したホームカミングデー(平成29年6月10日)に合わせて、平成28年度総会を開催しました。当日は、教室をお借りして支部会員10名の出席のもと開催しました。当日は、平成28年度の活動報告、会計報告をし承認を頂きました。ただし、会場の都合で、懇親会を開催できませんでした。また、日立支部では、平成30年3月22日(木)に役員会を開催し、平成29年度総会・懇親会を5月8日(火)に開催を決定しました。今年は、懇親会を中心に助川交流センターで開催します。

8

筑波銀行日立一高卒業生の集いを開催して

鈴木 裕之 (昭和53年卒)

平成29年12月9日ホテル天地閣において「筑波銀行日立一高卒業生の集い」を開催しました。筑波銀行には77名の日立一高卒業生が在籍しておりますが、母校の創立90周年を祝い39名の役職員が参加。また、銀行OBの3名が参加し総勢42名が集いました。

集いでは行内の上下関係を抜きにして、大いに語り、大いに飲んで全員が各々の高校時代の話題に花を咲かせました。終盤は、肩を組んで校歌斉唱に続き応援歌、白聖節を大合唱し予定時間を大幅にオーバーする盛り上がりとなりました。

また、当日は事務局のご好意により「同窓会旗」、「校歌CD」をお借りでき花を添える事ができました。当日は参加者の親交と「わが同胞」に誠ありを実感し結束を深める有意義な一日となりました。

どうぞ資産運用、住宅資金等のご利用は是非お近くの筑波銀行をお願いいたします。

最後になりましたが、母校が創立100周年に向け、益々発展される事を祈念して報告とさせていただきます。



同窓会では、同窓会の目的・活動趣旨に合致する団体に対して、支部として活動を認めています。(会則19条)しかし、支部とならなくても、職域や地域で、同窓生の集いを筑波銀行のように開催していると聞いています。その際は、同窓会旗や校歌CDなどをお貸しいたしますので、お気軽に白聖会事務局にご連絡ください。よろしくお願いいたします。

さらに、開催にあたっての住所録の整理や、案内はがき作成、同窓会の近況報告資料準備など、卒業生の集いのサポートをいたします。

卒業後20年、30年、還暦、喜寿などの記念学年同窓会開催のお手伝い(6頁参照)もいたします。また、開催報告だけでもいただければ、こちらの会報「白聖」に掲載いたします。

同窓会に関することは、なんでも白聖会事務局にご相談ください。(連絡先は、表紙右上に記載)

フラ&タヒチアンダンススタジオ運営
ショー・イベント企画構成ダンサー派遣
ハワイ関連コンサルタント業務

**プメハナ・フラ & タヒチアン
ダンス スタジオ**

代表取締役 小又 千賀子(昭和48年卒)
〒316-0004 日立市東多賀町5-10-5
TEL:0294-33-1531
Cell 090-1060-8328

雪印メグミルク・
小岩井牛乳宅配センター

宅配センターテスモ日立店

〒317-0072 日立市弁天町2-18-7
TEL 0294-21-3302 FAX 0294-23-2641

代表 小野 裕二 (昭和49年卒)

創業100年の歴史と伝統

ホテル天地閣

〒317-0074 日立市旭町2-6-13
TEL 0294-22-0188 FAX 0294-22-0175
URL http://www.tenchikaku.co.jp/

PCでもスマホでもFMひたちが聴けます!

ListenRadio
インターネットで「リスラジ」と検索 ▶ リスラジ

**FM 82.2MHz
ひたち**

〒317-0065 日立市助川町1-9-16-202
FAX: 0294-33-6788

取締役会長 椎名敦史 (昭和48年卒)
お申し込みに関するお問い合わせはコチラ!

TEL.0294-33-5689
Mail: 822@hfm.or.jp HP: http://www.hfm.or.jp/

キャリアサポート白聖会の活動状況とご協力をお願い

廣木 成治 (昭和51年卒)

日立一高は昨年、創立90周年を迎え、この間約3万人の卒業生が様々な分野で活躍していますが、卒業生の持つ情報や体験を後輩達のために役立てることを目的に「キャリアサポート白聖会」を設立しました。同会では、卒業生間の連携を強めながら学校が行うキャリア教育を補完するような活動を行いたいと考えています。

そこで昨年、ホームルームセミナー等での卒業生講師を同窓会ホームページにて募集開始するとともに、昨年6月の白聖祭では「先輩に話してもらいたい事柄」などの項目で在校生相手にアンケート調査を行いました。後輩達は、様々な職業に従事する先輩達の高校時代の様子等を聴きたいようです。

また、SSH(スーパーサイエンススクール)指定校になっていることもあり、STEM(科学技術・工学・数学)教育に興味を持つ在校生への支援も検討しています。

後輩達の要望に応えるべく、講師募集などキャリアサポート活動にぜひともご協力いただきたく、よろしくお願い致します。

茨城県教育長に就任 柴原 宏一さん (昭和48年卒)

教員の仲間意識大切

茨城県教育長に就任した
柴原 宏一

「茨城県教育長に就任し、小中」として茨城県の教育に責任を担う。教育の質を向上させるためには、教員間の連携が不可欠である。同窓会を通じて、教員間の交流を促進し、教育の質を向上させることに努める。また、同窓生との交流を通じて、地域の活性化にも貢献したいと考えている。

(茨城新聞 平成29年11月24日号より)

祝う会・励ます会について

祝う会・励ます会は、毎年、総会後の懇親会と同時に開催しています。

参考のため、既往の例を以下に示します。対象者の推薦は事務局までご連絡願います。

【祝う会】
叙勲、国家褒章、大臣表彰、県議会議員、新酒会金賞、少年補導栄誉金賞、ロダン大賞等

【励ます会】
県議会議長・副議長、部長、市・町長、副市・町長、収入役、教育長、監査、議会議長・副議長、病院院長、大学教授、一部上場企業取締役、新聞社取締役、社会福祉協議会会長、南情会常任理事、地方史編纂、書道研究会会長、商工会議所会頭・副会頭、県警本部部長、警察署長、警視正、主席監察官、プロスポーツ監督・選手、俳優、世界選手権出場、地球緑化センター理事長、県バスケットボール協会会長、県スポーツ振興功労賞、県サッカー協会会長、学校法人理事長・総長、ノンフィクションライター、弓道人名大事典刊行、学年同窓会回想文集刊行、声楽家 等

平成29年度 白聖会 会計報告

平成28年度 H28.10.1~H29.9.30
平成29年度 H29.10.1~H30.9.30

平成29年度の協賛金寄付状況

目標は、1,000名以上としました。同窓会報「白聖」の配布数は、住所の判明している一般会員20,590名とし、賛同していただいた人数は553名でした。ただし、住所不明のため返送郵便数は、565名でした。

従って、賛同率としては、2.7%でした。総金額としては、1,944,800円であり、1名あたりは、3,520円でした。賛同者数は、目標に達しませんでした。総金額としては1名あたりの協賛金が2,000円より多かったためほぼ達成できました。

今年度も、同窓会報「白聖」を会員全員に配布し、内容をより充実させ、同窓会の動向だけでなく、在校生の活躍などを多く取り上げ、会員のみなさまに現在の動向をご理解いただき、会報協賛金にご賛同いただける会員を増加させていきたいと思っておりますのでご協力お願い申し上げます。

	科目	28年度決算	29年度予算
収入の部	繰越金	2,437,349	1,595,504
	会費	2,580,000	2,592,000
	特別会費	1,010,000	1,350,000
	購読協賛金 他	2,410,011	2,851,473
	合計	8,437,360	8,388,977
支出の部	総会費	12,536	70,000
	会議費	0	10,000
	事務費	1,141,616	1,854,000
	旅費	7,640	20,000
	会報制作発送費	2,330,787	2,200,000
	支部交際費	27,000	50,000
	慶弔費	0	50,000
	母校助成費	3,311,477	3,250,000
	白聖祭援助費	450,000	450,000
	卒業記念品費	37,477	50,000
	部活後援費	404,000	450,000
	国際交流派遣費	1,300,000	1,300,000
	周年行事積立金	1,120,000	1,000,000
	予備費	10,800	884,977
合計	6,841,856	8,388,977	
特別会計 周年行事積立金(90周年)		0円	(平成29年10月1日現在)

部活動 OB 会活動報告

ソフトテニス部OB会報告

会長 永井 良一 (昭和45年卒)

日立一高ソフトテニス部は、学校創立と同時に創部し、今年で創部91年を迎えようとしています。創部以来、常に県高体連及び県連盟のリーダーとして貢献してまいりました。

毎年1月3日には、在校生、卒業生の交流の場として初打会を開催しております。OB会としても卒業生のコーチを増員して現役生の活躍を支えています。

又、毎年シーズンの始まる3月に県内外の強豪校を迎えて、県北地区高校生の技術力向上を目指し、OB会主催で白亜杯ソフトテニス大会を開催しております。

このようにソフトテニスを通じて人間形成に役立つお手伝いをしております。今後、OB会としても、益々後輩たちの活躍の場を広げるため、貢献していきたいと思っております。

在校生及び卒業生の県内外大会の成績及び近況等をソフトテニスOB会が発行している会報やSNSでもご覧いただけます。どうぞご利用ください。

Twitter : @hitachi1_st_OB
Facebook : 日立一高ソフトテニス部OB会



社団法人 茨城県宅地建物取引業協会会員
茨城県知事免許 (3) 5968号

有限会社 **ダイトク**

〒319-1541
茨城県北茨城市磯原町磯原3丁目53番地
事務所 電話・FAX 0293(43)4332
代表取締役 (昭和40年度卒業)
大森 廣幸
自宅電話・FAX 0293(42)1383
携帯 090-8436-2801

メガネ コンタクト 補聴器の本格派専門店

メガネの **ナリタ**
〒317-0065 日立市助川町1-7-13 (株)成田メガネ店
代表取締役 成田 壯太郎 (昭和36年卒)

●本 店 / ☎0294-21-4717(代)
●多 賀 店 / ☎0294-36-0336(代)
●ヨーカドー日立店 / ☎0294-21-5777(代)

部活動OB会活動を行っているみなさまへお願い

会報「白亜」では、運動部・文化部のOB会の活動状況を毎月掲載していく予定です。各OB会の活発な活動をより広く同窓生に伝えていきたいと思っておりますので、ぜひ投稿をお願いいたします。

必要事項

- ・タイトル
- ・原稿執筆者名
- ・活動報告 (400文字程度)
- ・写真 (1~2枚程度)

※紙面の都合によりすべて使用できない可能性もあります。ご了承ください。

【投稿方法】
白亜会事務局まで、郵送またはメールでお願いいたします。

〒317-0063 日立市若葉町3-15-1
日立第一高校内 日立一高同窓会白亜会 宛
(メール: info@hitachi-hakua.jp)

締切: 2019年3月10日(日) 必着

茨城県知事許可(一般)第19682号

株式会社 **友総建設**

代表取締役 **鈴木英明**
(昭和40年度卒業)

〒319-1541 北茨城市磯原町磯原見塚1890-41
電話 0293-43-5553 FAX 0293-42-1987

株式会社 **魚武**

和食屋 まんぼう

日立市赤天町1-11-10 TEL. 21-7700

仕出し専門 魚武

日立市赤天町1-12-14 TEL. 22-0241

日立ゴルフクラブレストラン

日立市滑川町3033 TEL. 22-5659

代表取締役 鈴木信夫 (昭和46年卒)

きものことならおまかせ下さい

お仕立、お手入れ、染め替え、仕立て直し、ご相談下さい。

なつしき **余佐藤呉服店**
日立市役所脇 TEL(21)3318

佐藤 雄市郎 (昭和40年卒)

AD-SUPPORT
地元のお仕事は地元の人が紹介します

和 **田 祐 司**
(昭和51年度卒業)

Ad **アド・サポート**
ADVANCE SUPPORT

0120-42-7077

有限会社 **いろはや**

〒317-0065 日立市助川町1-9-16
電話 0294-21-0779
代表取締役 椎名 敦史 (昭和48年卒)

東京海上日動火災保険株式会社
東京海上日動あんしん生命保険株式会社

超保険

有限会社 **かみね保険事務所**
〒317-0055 茨城県日立市宮町3-9-2
TEL.0294-21-1390 FAX.0294-21-1391
E-mail kamine@kamine-h.jp

地域貢献から 全国サッカー界へ

サッカー部 OB会「白蹴会」役員
鈴木 弘 (昭和53年卒)

今年2月24日、あまり知られてないJリーグ開幕の裏対決がありました。浦和レッズ対FC東京、我々は、立花レッズ副社長(昭和53年卒)VS大金F東社長(昭和60年卒)の対決を喜んでおりました。共に日立一高でサッカーを学び、楽しみ、現在は全国のトッププロチームを運営しています。そんな彼らを含むOB会「白蹴会」は昭和32年に発足し、現役部員の支援や少年サッカー指導など地域貢献を続けているのです。その結果として、母校部員のみならず、地域サッカー少年が高校、大学、社会人へと成長していくことを支え、日本サッカー界を盛り上げることが出来れば幸いです。

白蹴会は、現役指導や応援だけでなくOB懇親会やゴルフコンペ、父母の会との懇親会などを継続的に実施してきました。

また、平成23年には「現役を応援し、活動の歴史を残す場」として、公式ホームページ(備考)を立ち上げました。そして「市内高校OB戦」や「日立工業高校定期戦」(写真2018.2.4@折笠G)などを通じて、他校との交流、親睦を深めています。

平成31年にはサッカー部創部70年の節目の年を迎えます。白蹴会は今後も母校の発展と地域貢献に積極的に寄与してまいります。

(備考) サッカー部公式ホームページ
<http://www.hitachi1-fc.com>



硬式野球部OB会

会長 鈴木 信夫 (昭和46年卒)

硬式野球部OB会では毎年、夏の全国高校野球選手権茨城大会が始まる前の週に総会を開催しています。総会後の懇親会では、野球部の監督・部長を囲んで選手の状況、本大会の抱負などを聞き、激励する場となっています。

本会では、現役野球部に対して、微力ながらグラウンド照明設備や金銭的な支援など行っておりますが、交流会などは近年なかなか開催できていない状況が続いております。



本校野球部においては、昭和の時代に比べ男子生徒比率が下がっている状況においても、多くの部員を確保しながら、限られた予算、恵まれない環境設備の中で、中高一貫の進学校として勉学との両立を実践し、茨城県内強豪私立の多い中、甲子園出場を目指し大変険しい道のりに挑んでおります。

昨年の秋季関東地区高等学校野球大会茨城県大会で準決勝に進出。この春の選抜高校野球大会では、通算3度目となる茨城県「21世紀枠」に推薦されました。

残念ながらセンバツへの出場は叶いませんでしたが、着実に古豪復活の道筋が見えはじめ甲子園にあと一步のところまで迫っております。

OB会では、再び甲子園への出場を願い、本会目的である本校野球部の発展、強化のため、更なる人的・経済的な支援を強化して参ります。またその為にもOB会員600名超の会員同士の交流と親睦をすすめて参ります。

本会ホームページURL:
<http://日立一高野球部ob会.com>

OB・現役一丸となって

ラグビー部OB会 会長 尾又 篤
(昭和37年卒)

ラグビー部は、戦後間もない昭和21年の秋、初代部長の大和田幡市郎先生によって創設され、平成28年に創部70周年を迎えました。

その間、OB約700人を輩出し、関東大会28回出場、全国大会5回出場、県内公式戦111連勝(これは、いまだに破られていません)などの戦績を残すとともに、卒業後は関東大学・社会人ラグビー等で数多くの選手が活躍してきました。

近年では、少子化等に伴う学校規模の縮小や生徒気質の変化、スポーツ選択の多様化等に伴い、部員の確保が困難になってきました。しかし、逆風に屈することなく、平成24年度の附属中学校創設に当たっては、OB会が結束して学校側に強く働きかけを行った結果、附属中ラグビー部が誕生。同部は平成27~29年度に3年連続関東大会出場を果たすなど、ラグビー部の発展に大きく寄与しています。



OB会は、正月3日の蹴り初めに始まり、大会ごとの応援と激励金(交通費等に充当)、夏の菅平合宿の支援、ジャージ・備品類の購入や筋力トレーニングの指導者派遣費用の補助、全国大会前秋合宿でのバーベキューなど、現役部員との交流を深めながら、物心両面で部員を支援しています。

創部30周年以降は10年ごとに周年行事を実施しており、記念誌発行や記念招待試合、記念式典などを通して親睦を深めており、昨年夏の創部70周年記念事業を契機としてOBチームが結成され茗溪・清真学園のOBなどと交流試合も行っています。

これからも、創部80周年を目指してOB・現役一丸となって前進してまいります。

平成29年度 白堊会役員

日立一高同窓会・地域・職域・女性会

役職	氏名	卒年	住所
会長	井上 清	昭和39年	319-1222 日立市久慈町7-2-17
副会長	野口 不二子	昭和37年	319-1541 北茨城市磯原町磯原73
	宇佐美 泰男	昭和39年	319-1541 北茨城市磯原町磯原2-4
	鈴木 欣一	昭和41年	316-0015 日立市金沢町4-13-36
	中村 瑞人	昭和45年	312-0011 ひたちなか市中根4819-5
	青木 俊一	昭和49年	316-0034 日立市東成沢町3-7-7
	森 秀明	昭和52年	316-0006 日立市末広町2-1-25
監事	小野 勝久	昭和36年	316-0002 日立市桜川町3-4-17
	坂場 美泉	昭和55年	317-0071 日立市鹿島町1-11-11

役職	氏名	卒年	役職	氏名	卒年	役職	氏名	卒年
常務理事	椎名 敦史	昭和48年	理事	緑川 智	昭和31年	理事	鈴木 浩一	昭和49年
常任理事	橋本 恵二	昭和29年		石 平光	昭和33年		高星 秀穂	昭和49年
	山本 忠安	昭和29年		岡部 光雄	昭和33年		佐藤 弘	昭和51年
	森 秀男	昭和29年		小泉 隆紀	昭和33年		和田 祐司	昭和51年
	今橋 孝行	昭和31年		角田 久光	昭和34年		岡部 和彦	昭和51年
	森嶋 宏	昭和34年		高林 由幸	昭和36年		白石 国寛	昭和51年
	森嶋 鎮一郎	昭和35年		和田 尚武	昭和36年		大内 勇雄	昭和52年
	永井 晃	昭和35年		松本 俊一	昭和36年		岡部 英明	昭和52年
	沼田 明博	昭和36年		海野 透	昭和36年		前田 利勝	昭和52年
	尾又 篤	昭和37年		成田 壯太郎	昭和36年		玉木 崇之	昭和53年
	佐藤 吉典	昭和38年		三浦 政晴	昭和36年		征矢 裕	昭和53年
	松崎 武久	昭和38年		川村 達雄	昭和37年		小貫 勝則	昭和54年
	沼野 新弥	昭和40年		三代 弘美	昭和37年		清水 正建	昭和55年
	舟橋 正隆	昭和41年		山崎 保雄	昭和37年		村田 文彦	昭和55年
	川崎 和典	昭和41年		吉成 明	昭和38年		奥田 茂樹	昭和55年
	青山 孝明	昭和42年		酒井 次男	昭和38年		山形 勝	昭和56年
	石川 貞夫	昭和42年		荒川 英雄	昭和39年		小林 毅	昭和56年
	山名 康友	昭和44年		樫村 寿道	昭和39年		三森 祐敦	昭和57年
	結城 秀郎	昭和44年		樋口 一男	昭和39年		松田 考史	昭和57年
	大和田 茂	昭和45年		高岡 洋	昭和40年		川又 光久	昭和57年
	五来 敬一	昭和46年		鈴木 宏文	昭和40年		三富 健史	昭和58年
	伊藤 智毅	昭和47年		石川 峻	昭和40年		佐藤 貢一	昭和59年
	江尻 寿憲	昭和47年		大森 廣幸	昭和41年		芝田 崇徳	昭和59年
	太田代 紀子	昭和47年		鈴木 起一	昭和41年		沼田 英治	昭和59年
	鹿志村 高道	昭和48年	丹 誠一郎	昭和41年	大森 満	昭和59年		
小又 千賀子	昭和48年	沢山 洋二	昭和41年	内山 庄栄	昭和59年			
秋山 啓市	昭和50年	志賀 秀之	昭和42年	大高 文昭	昭和60年			
征矢 亘	昭和51年	茅根 太一	昭和42年	酒井 雄一	昭和61年			
白土 和彦	昭和52年	三沢 俊介	昭和42年	山本 晃裕	昭和62年			
村田 章	昭和54年	井上 完夫	昭和42年	高橋 学	昭和63年			
理事	直井 潔	昭和19年	菊地 政夫	昭和42年	本田 浩一	平成 3年		
	松田 久長	昭和22年	野沢 孝雪	昭和43年	嶋 明美	平成 4年		
	田崎 博	昭和28年	大金 博	昭和43年	大窪 玲生	平成 5年		
	佐藤 義夫	昭和28年	前野 房三	昭和43年	片岡 邦夫	平成 6年		
	山形 昭英	昭和28年	村山 功	昭和43年				
	荒川 俊男	昭和29年	鈴木 茂美	昭和44年				
	石川 元之	昭和29年	川口 雅志	昭和45年				
	中根 敦文	昭和29年	照沼 昇	昭和46年				
	松本 定信	昭和29年	駒木根 啓美	昭和47年				
	茅根 一弥	昭和30年	嶋崎 順一	昭和48年				
	根本 経政	昭和30年	山縣 茂嘉	昭和48年				
	山縣 勝雄	昭和30年	山名 玲子	昭和48年				
	茅根 茂彦	昭和30年	大津 政美	昭和49年				

平成30年4月現在

役員等	10名
常任理事	29名
理事	90名
計	129名

支部	氏名	卒年	住所	電話番号
常北	中根 敦文	昭和29年	319-1721 北茨城市関本町関本1157	0293-46-1722
磯原	大森 廣幸	昭和41年	319-1541 北茨城市磯原町磯原3-52	0293-42-1383
高萩	沼野 新弥	昭和40年	318-0021 高萩市安良川693	0293-22-4895
豊浦・日高	森嶋 鎮一郎	昭和35年	319-1411 日立市川尻町1-17-7	0294-43-5757
日立	椎名 敦史	昭和48年	317-0077 日立市城南町5-16-16	0294-23-1237
多賀	井上 完夫	昭和42年	316-0003 日立市多賀町2-17-7	0294-33-1253
ひたちなか	清水 正建	昭和55年	312-0002 ひたちなか市高野1210	029-285-3300
笠間	和田 尚武	昭和36年	309-1738 笠間市大田町208-179	0296-78-2950
県央	川崎 和典	昭和41年	319-1106 那珂郡東海村白方147	029-282-1204
東京	荒川 英雄	昭和39年	152-0023 東京都目黒区八雲5-15-17	03-3718-4527
日立市役所	岡部 和彦	昭和51年	319-1233 日立市神田町920	0294-52-6283
日鉦	佐藤 貢一	昭和59年	317-0056 日立市白金町1-1-2 日鉦金属(株) 精鋼課	0294-23-7289
旧多賀工場	川又 光久	昭和57年	313-0048 常陸太田市藤田町1052-1	0294-21-4420
国分	芝田 崇徳	昭和59年	316-0023 日立市東大沼町1-19-41	0294-37-2202
日立ハイテク那珂	小貫 勝則	昭和54年	312-8504 ひたちなか市市毛882 (株)日立ハイテクノロジーズ評価研究開発部	029-276-9865
日立オートモティブシステムズ	奥田 茂樹	昭和55年	319-0913 水戸市見川町2563-416	-
県警	三森 祐敦	昭和57年	310-0842 水戸市笠原978-6 茨城県警本部会計課 今橋博宣様扱い	029-301-0110
大みか事業所	小林 毅	昭和56年	319-1293 日立市大みか町5-2-1 (株)日立製作所大みか事業所	0294-53-1111
女性会	野口 不二子	昭和37年	319-1541 北茨城市磯原町磯原73	0293-42-1891
(休止中)日立ライフ	沼田 英治	昭和59年	317-0073 日立市幸町1-20-2	0294-25-1269

白堊会 事務局日誌

- ◇平成29年度理事会・総会・懇親会(90周年祝賀会)
 - 理事会・総会出席者: 97名(幹事51名、一般46名)
 - 平成29年10月28日(土) ホテル天地閣 会費6千円
- ◇「白堊81号」発行(平成29年5月25日)
- ◇支部活動(平成29年5月～平成30年4月)
 - 女性会 平成29年5月12日(土) 天地閣
 - 日立支部 平成29年6月10日(土) 日立一高
 - 東京支部 平成29年7月1日(土) 大手町サンケイプラザ
 - 常北・磯原支部 平成29年7月23日(日) 五浦観光ホテル大観荘
 - 多賀支部 平成29年8月19日(土) 大華楼
 - 十王・豊浦・日高支部 平成29年9月7日(木) 日立金属日高クラブ
 - 女性会 平成29年9月22日(金) 天地閣
 - 日立市役所支部 平成30年2月5日(月) シビックセンター
 - 多賀支部 平成30年2月23日(金) 中日軒
 - 高萩支部 平成30年4月29日(日) 国民宿舎「鶴の岬」
- ◇幹事会
 - 平成29年 7月25日(火) 午後4時 日立一高応接室 予算執行状況、100周年事業
 - 平成29年 9月25日(月) 午後4時 日立一高応接室 平成28年度決算・平成29年度予算審議
 - 平成29年10月28日(土) 午後1時 日立一高体育館 理事会・総会 平成28年度決算・平成29年度予算報告
 - 平成29年12月22日(金) 午後4時 日立一高応接室 年間活動計画、理事選考
 - 平成30年 2月21日(水) 午後5時 日立一高応接室 予算執行報告、理事選任、会報誌の概要
 - 同窓会入会式(2/28)、卒業式(3/1)、入学式(4/9)
 - 平成30年 4月9日(月) 午前10時 日立一高応接室 会報誌内容審議
- ◇90周年実行委員会
 - 平成29年 5月26日(金) 午後5時 日立一高大会議室 実行委員会体制分担確認
 - 平成29年 9月6日(木) 午後5時 日立一高大会議室 90周年記念事業状況報告
 - 平成29年12月15日(金) 午後4時30分 日立一高大会議室 90周年記念式典の結果報告
- ◇支部長交代のお知らせ(敬称略)
 - 日立市役所支部 大内勇雄(昭和52年)から 岡部和彦(昭和51年)

本会は、役員・常任理事・理事によって、本会の目的達成のため総会で決定した事業を取組んでおります。組織的に進めていくためには、職域・地域・女性会各支部に加えて、卒業年会員同士の連帯・連携が重要となります。現在では、全ての年代に理事がいるわけではありません。つきましては、事務局から各卒業年会員に代表である理事の選出をお願いをさせていただきますので、ご協力を宜しくお願いいたします。

日立一高同窓会 白聖会 会則

ホームカミングデー 開催のお知らせ

日立一高ホームカミングデーは、平成29年度から、白聖祭の開催に合わせ、同窓会会員相互の親睦を深めるとともに、在校生の活躍に触れることとし、本学の一層の発展に資する目的で同窓生に案内をして開催しています。平成30年度については、下記の通り開催することとなりました。当日、白聖祭では、さまざまなイベントが企画され、模擬店も出ております。十分にお楽しみいただきながら、世代を超えた交流ができることを願っております。ぜひご参加ください。

日時：平成30年6月9日（土）11：00～14：00

会場：日立一高応接室（職員玄関をに入って右手側）

参加費：無料（事前申し込みは不要です）

内容：

(1) ホームカミングデー開会式 11：00～（15分程度）
同窓会長挨拶、学校長挨拶、趣旨説明、白聖祭紹介

(2) 交流コーナー 11：15～14：00
白聖会の歴史、会報「白聖」の展示、同窓生の活躍紹介（パネル展示）など
飲食コーナーも設置します。ごゆっくりお過ごしください。

協賛広告募集について

毎年発行している本誌「白聖」に、皆様が見られている企業・クラブなどの団体の広告を掲載いたします。広告の内容は、事業の紹介やアピール、人材募集の案内など、会誌を毀損させないものであれば、どのようなものでも構いません。皆様の協賛をお待ちしております。

申込・問合せは、同窓会白聖会までご連絡ください。（連絡先は、表紙右上に記載）



物故者

平成30年4月までに判明した方を掲載しました。尚、敬称は略します。

旧職員	上田 健治	昭和24年	岡本 勉	昭和37年	綿引 徹也
昭和15年	塚本 俊夫	昭和25年	小嶋 國雄	昭和38年	前野 哲也
昭和17年	秋山 秀男	昭和25年	小塚 顕一郎	昭和38年	永山 正
昭和18年	黒沢 秀一	昭和26年	小宅 亮	昭和41年	永山 佳央
昭和19年	川又 兼三	昭和26年	大澤 勝巳	昭和41年	佐藤 文里
昭和19年	鈴木 秀穂	昭和26年	鈴木 昭	昭和41年	鈴木 義照
昭和19年	石井 久	昭和27年	高木 茂雄	昭和42年	伊藤 猛
昭和20年	安嶋 彬	昭和27年	水庭 稲康	昭和42年	川井 民雄
昭和20年	鈴木 喬	昭和28年	早見 晋一郎	昭和43年	鈴木 博文
昭和20年	今藤 浩男	昭和29年	松山 三郎	昭和45年	長山 真人
昭和20年	小野 充雄	昭和29年	井坂 力	昭和45年	高橋 浩二
昭和20年	清代 清	昭和29年	本間 義雄	昭和46年	根本 次郎
昭和21年	鈴木 博文	昭和30年	川田 猛男	昭和48年	大森 昭
昭和23年	河野 通	昭和30年	布施 重博	昭和52年	小野 正実
昭和23年	柴田 光蔵	昭和31年	鳥居 俊夫	昭和55年	小松 勝広
昭和24年	橋本 尚美	昭和35年	柳橋 喜代子	昭和58年	松原 均
昭和24年	田村 伸也	昭和35年	根本 紀一		

会報「白聖」には、理事・常任理事の物故者だけでなく、会員の物故者も掲載してまいりますので、職域・地域・女性会支部 または 本部事務局 にご連絡をお願いいたします。

第1章 総則

第1条（名称）本会は、茨城県立日立第一高等学校同窓会「白聖会」と称する。

第2条（目的）本会は、会員相互の連絡親睦を図り、母校の発展に協力することを目的とする。

第3条（事業）本会は、前条の目的を達成するために下記の事業を行う。
1. 母校発展のための支援活動
2. 親睦会の開催
3. 会誌及び名簿の発行
4. その他本会の目的を達成するための必要な事業

第4条（事務所）本会の事務所を茨城県立日立第一高等学校内に置く。

第2章 会員

第5条（会員）本会の会員は、旧制茨城県立日立中学校、茨城県立日立第一高等学校の卒業生及びこれに準ずるものとする。

第3章 役員及び事務局

第6条（役員）本会に、次の役員を置く。
1. 会長1名、副会長若干名、常任理事若干名、理事若干名、監事2名、常務理事1名
2. 顧問 母校校長
3. 会長、副会長、理事及び監事は、総会において会員の中から選出する。
4. 常任理事は、理事の中から会長が委嘱する。
5. 支部長は理事となる。
6. 常務理事は、会長が委嘱する。

第7条（役員の職務）役員の職務は、次の通りとする。
1. 会長は、本会を代表し、会務を統括する。
2. 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代行する。
3. 常任理事は、会務の重要事項について審議する。
4. 理事は、常任理事会で先議された
1. 事業計画及び予算 2. 事業報告及び決算
3. その他会長が特に必要と認められた事項について審議決議する。
5. 監事は、会務を監査し、その結果を総会に報告する。
6. 常務理事は、事務局を担当する。

第8条（役員の任期）役員の任期は2年とする。但し、再任を妨げない。
1. 補充により就任した役員の任期は、前任者の残任期間とする。
2. 役員は、任期満了の場合においても、後任者が就任するまでは、その職務を行うものとする。

第9条（解任、除名）役員及び会員が本会の名誉を著しく毀損し、または、本会の目的に反する行為があったと認められた時、会長は、理事会の議決によって、これを解任若しくは、除名することができる。

第10条（事務局）本会の事務を執り行うために事務局を置く。
1. 常務理事は、事務局長となる。

第4章 会議

第11条（会議の種類）会議は、総会、理事会及び常任理事会とする。

第12条（召集及び議長）会長は、必要と認められた時、会議を招集し、その議長となる。

第13条（定員数）総会、理事会及び常任理事会の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数の時は、議長の決するところによる。

第14条（総会）総会は、次の事項を審議し承認または決定する。
1. 事業計画及び予算
2. 事業報告及び決算
3. 役員を選任
4. 会則の改定
5. その他本会の事業執行ならびに会務の運営に関する事項
6. 総会は、毎年10月28日（母校創立記念日）に開催する。但し、必要あるときは期日を変更し、あるいは臨時に総会を開催することができる。

第15条（理事会）理事会は、次の事項を審議決議する。

1. 事業計画及び予算
2. 事業執行並びに決算
3. その他会長が特に必要と認められた事項

第16条（常任理事会）常任理事会は、次の事項を審議する。

1. 理事会への提出議題の先議
2. 会長が特に必要と認められた事項

第17条（支部長会）支部長会は、必要に応じて会長が召集し重要事項を審議し、決定する。

第18条（会議の記録）本会に関するすべての会議については、その内容を記録し保存するものとする。

第5章 支部及び特別委員会の設置

第19条（支部）本会は、組織の充実を図るため地域及び職域別に支部を置くことができる。その他本会の活動趣旨に合致する団体として会長が認められたものを支部とすることができる。
1. 各支部は、毎年1回総会を開き、支部長はこれを会長に報告する。
2. 支部設置基準については別にこれを定める。

第20条（特別委員会）会長が必要と認められたとき、理事会の審議を経て特別委員会を設置することができる。
1. 委員は会長の委嘱による。

第6章 経費及び会計年度

第21条（経費）本会の経費は、会費、特別会費、寄付金及びその他の収入をもってこれにあてる。
1. 会費は、終身会費として卒業時に納入する会費で、在学中に分割納入することができる。その額は総会において定める。
2. 特別会費は、理事が納入する会費で、その額は総会において定める。

第22条（管理）本会の資産は、会長がこれを管理する。資産のうち現金預金は、確実かつ安全な方法により保管する。

第23条（会計年度）本会の会計年度は、毎年10月1日より始まり翌年9月30日に終わる。

第7章 雑則

第24条（委任）この会則の施行について必要な事項は、会長が定める。

第8章 附則

第25条（会則の変更）本会則の改定は、総会において出席会員の3分の2以上の同意を得なければならない。

第26条（会則の施行及び改定）本会則は、昭和36年11月11日より施行する。

本会則は、昭和61年10月24日一部改正する。
本会則は、昭和62年10月28日改正施行する。
本会則は、平成21年10月28日一部改正する。
本会則は、平成27年10月31日一部改正する。

茨城県立日立第一高等学校同窓会支部設置基準

支部設置の基準として会則19条2項について細則を以下のように設ける。

1. 地域及び職域を限定し、明確にする。その際、既設支部と領域が重複しないことなどを考慮する。
 2. 代表や責任者を定め、支部連絡先を明らかにし、規約・会員を本部に報告する。
 3. 活動するには会費を徴収し、総会を年1回開く。
 4. 本部との連携、報告を密にする。
 5. その他必要と思われることについては、本部と相談、指示を受ける。
- 以上の要件を満たし、支部を設置しようとする時は、本部に支部設立の申請手続きを行い、会長の承認を受けるものとする。

購読協賛金 納入のお願い

日立一高同窓会・白堊会は、昨年から会報「白堊」の発行部数を約20,000部に増刷し、住所の判明している卒業生全員に配布できるようにしました。

それに伴い、発送コストが発生いたしますので、購読協賛金という形でご負担をお願いいたします。

同窓生のみなさまに向けて母校の情報をお届けするべく、会報「白堊」での発信を続けてまいりますので、ご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

The diagram illustrates the layout of a remittance slip (left) and a receipt form (right). Annotations indicate where to fill in personal information:

- Remittance Slip (払込取扱票):**
 - 02 (Branch code)
 - 001405 (Postal code)
 - 791571 (Postal code)
 - 10000 (Amount)
 - 加入者名 (Member name): 茨城県日立第一高等学校同窓会
 - 加入者住所 (Member address): 〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇市〇〇町〇-〇-〇
 - 加入者名 (Member name): 平成 太郎
 - 電話番号 (Phone number): 1234 - 56 - 7890
- Receipt Form (振替払込請求書兼受領証):**
 - 加入者名 (Member name): 茨城県日立第一高等学校同窓会
 - 金額 (Amount): 10000
 - 加入者名 (Member name): 平成 太郎

お近くの郵便局の窓口でも、ATMでも払い込みができます。

白堊会 今後の活動予定

平成30年度 白堊会 総会

懇親会・祝う会・励ます会

日時：平成30年10月28日（日）

総会 15：00～ / 懇親会 16：00～

会場：ホテル天地閣 日立市旭町2-6-13 TEL：0294-22-0188

会費：8,000円（当日徴収）

参加申し込み：同封の払込取扱票の「全体同窓会総会」「同窓会懇親会」の「参加」に○を付けてください。

常任理事会・理事会

日時：平成30年5月19日（土）

常任理事会 17：00～ / 理事会 18：00～

会場：日立一高 大会議室

ホームカミングデー

（詳細は15頁に記載）

日時：平成30年6月9日（土） 11：00～14：00

会場：日立一高 応接室

編集後記

日立一高同窓会白堊会は「事務局の確立」「在校生への支援強化」を2大テーマと取り組んでいます。そのための最強最大のツールとしての「広報・白堊」は、同窓会の動向、在校生の活躍、支部だより運動部OB会報告等、具体的に果たす役割は大きいと考えています。白堊会を活性化するための情報発信、学年同窓会の開催による卒業年の結束と連帯が重要であり、同窓会事務局は、卒業年同窓会開催の支援や、白堊祭でのホームカミングデーの開催など、体制強化を進めてまいりますのでご支援とご協力をお願いいたします。